

在本邦アメリカ合衆国大使館特命全権大使

ウィリアム・F・ハガティ 閣下

抗議文

このたび、貴国が本年2月に臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

昨年10月にも貴国の臨界前核実験に対する抗議文を送付し、厳重に抗議したにも関わらず、再び核実験を行ったことは、核兵器廃絶を願う人々の期待を裏切るもので、国際社会における核軍縮・不拡散への取り組みに逆行するものであり、激しい憤りを覚えます。

また、貴国の核実験が、今後の北朝鮮の非核化に悪影響をもたらすのではないかと懸念しています。

私たち帯広市民は、核兵器のない真の世界平和の実現に向けて、貴国が核軍縮に取り組み、再度の核実験及び核開発につながるすべての行為を行わないよう強く求めます。

上記抗議内容について、本国へ伝達されるようお願いいたします。

2019年5月28日

帯広市長 米沢 則寿